

2023年度

事業報告書

公益社団法人 岡山青年会議所

The Creed of Junior Chamber International

We Believe :

That faith in God gives meaning
and purpose to human life ;
That the brotherhood of man
transcends the sovereignty of nations ;
That economic justice can best
be won by free men through free
enterprise ;
That government should be of laws
rather than of men ;
That earth's great treasure lies in
human personality ; and
That service to humanity is the
best work of life.



JCI  Junior Chamber International Okayama

ミッション

JCI Mission

トゥ プロバイド リーダーシップ デヴェロップメント オポチュニティーズ
To provide leadership development opportunities
ザット エンパワー ヤング ピーブル
that empower young people
トゥ クリエイト ポジティブ チェンジ
to create positive change.

JCIの使命

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすために
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

《2022年》

JCI Vision

To be the foremost global network
of young leaders.

JCIビジョン

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを
先導する組織となる。

J C 宣 言 文

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

《2020年11月5日 世界会議横浜大会 第165回総会にて可決承認》

綱 領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての
英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

《1960年12月総会決定》

岡山JC三信条

- 修 練** 岡山JCは、青年経済人として郷土の経済発展に貢献し、企業を基盤として社会貢献を
行い、不易と流行を常に意識し、行動に移すべく、自己修練を行う団体である。
- 奉 仕** 岡山JCは、快適で活力あるまちづくりができる人材を育成する団体である。
- 友 情** 岡山JCは、志の基に集まった会員相互が、青年会議所運動を通して、切磋琢磨し、真
の友情を培う団体である。

「21世紀における(社)岡山青年会議所のあるべき姿」
《1999年1月14日 第1回定時総会承認（内容同上）》
「岡山JC三信条」

《2009年11月4日総会承認》
《実施期間2010年1月1日～2014年12月31日》

2024年度スローガン

JCI スローガン

GUIDED BY PURPOSE

公益社団法人日本青年会議所 スローガン

Drive our dreams
日本の魅力で世界を席卷しよう

公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会スローガン

For the future

公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会スローガン

岡山が輝き
夢溢れる
まちの創造

公益社団法人岡山青年会議所スローガン



〔目 次〕

- I 事業報告 3
理事長、副理事長、専務理事、常任理事、監事
- II 組 織 11
 - 1. 会 員 11
 - 2. 組 織 図 13
- III 出向者報告 14
- IV 委員会活動報告 22
- V 会 議 25
 - 1. 総 会 25
 - 2. 理 事 会 26
- VI 例 会 29
- VII 諸 事 業 30
- VIII 褒賞関係 31



基本理念 誰からも愛され、誰からも頼られる、光輝く存在の岡山青年会議所であるよう、行動に努めていこう。決して自らの利益のみの追求することをよしとせず、関わるすべての人や地域社会、そして仲間と組織の幸せを願う強い心をもって会員一体となる活動を進めていこう。

基本方針 ひととはひとでしか磨かれない。熱く泥くさい想いをもち、共に未来を信じ只々前を向いて進んでいこう。常に謙虚な気持ちを忘れることなく誰もがひとの本質を愛し、夢や希望溢れる未来輝く郷土岡山を創りあげていこう。

郷土岡山にしかない、固有の魅力を再発見しブラッシュアップすることで、まちの新たな価値を創出しよう。多様な人々が活躍できる仕組みづくりを通して、輝くひとがまちを輝かせ郷土を進化させる好循環を創造しよう。

時代に即した新たな感性を持ち続けることで、地域にとって必要とされる場所であり続けよう。我々が先頭に立ちすべての起点として、未来を創造し行動に移していくことで、周囲に感動を与えられる存在となっていこう。

同志と共に普段と異なる空間で本質を追求し、会員が積極的に参加できるよう規律ある学び多き貴重な場を提供しよう。連綿と紡がれた友情を認識し、楽しむ気持ちを忘れず常に高い意識で新たな交流の機会を創出しよう。

公益団体としてコンプライアンスを徹底し、高い透明性を確保した活動や運動を展開していこう。時代に適応した制度を確立し、地域社会へよりよき影響を与えることで、誰からも愛され頼られる唯一無二の団体となろう。

組織として常に戦略性を持ち一体となった組織運営を行い誰からも愛されるよう行動に努めていこう。地域発展のため新たな手法を確立し対外からは信頼と共感、対内からは、頼られる存在となるべく活動を進めていこう。



I 事業報告

理事長 安部 真良

本年度、「Sparkle Okayama」のスローガンの元、117名の会員と共に多くの事業、運動を展開させていただきました。執行部をはじめ、一緒に活動していただいた現役会員の皆様には心より感謝申し上げます。特に近くで支えてくださった本多専務理事には一言では言い表せないほど、沢山の時間や労力をかけてもらったことを心の底より感謝いたします。私にとって皆様と楽しく素晴らしい時間を過ごさせていただいた2023年は生涯忘れることのできない思い出になりました。本当にありがとうございました。

この1年間、岡山のまち、そして人々を輝かせるために尽力し、岡山青年会議所が「唯一無二の存在」として愛され、頼られる存在となるよう活動してきました。その結果、自己の利益ではなく地域社会や仲間の幸せを願う心強い会員が増え、未来のリーダーの創出に寄与したと考えます。詳細な事業については執行部からご報告いただければと思いますので、私からは1年間理事長として活動させていただいた中で感じたことを報告とさせていただきます。

1年間トップの役職を務めさせていただいた身としてお伝えしたいことは、岡山青年会議所ほど「利他の心」を学べる場所はないということです。見返りもなく人のために働き、人の成長を心から願う「ひとづくり」の精神は本当に素晴らしいことです。入会した当初は自分自身のことしか考えられなかった人が会員研修委員会で学んだことによって同期のことを考えられるようになります。幹事になればその委員会十数人のことが考えられるようになります。そして委員長になれば委員会員の成長までも考えられるようになります。そして理事長になれば全会員の成長だけを考えられるようになります。私は周りの人が喜んでくれることが好きです。私は周りの人と切磋琢磨し、お互いに成長することが好きです。そしてそれを体現できる岡山青年会議所が大好きです。現役で残る会員の皆様におかれましてはこの岡山青年会議所に在籍していることに誇りを持ち、「利他の心」を持って活動してください。そうすれば全てがうまく進むはずです。皆さんの未来がますます輝くことを心より願っております。

最後になりますが、この1年間ご支援ご協力いただきました関係各位の皆様には心より感謝を申し上げ事業報告とさせていただきます。

1年間本当にありがとうございました。



副理事長 井戸 啓太

本年度は岡山青年会議所の根幹となるひとつづくり室を、副理事長兼会員研修委員会委員長という立場で運営させていただきました。また前期新会員及び後期新会員、そして大変心強いスタッフとともに一年間の活動を有意義に取り組むことができました。

礼儀礼節や利他の精神を大切にし、修練を重ねることで自立したリーダーを育成することを目的に、自発的に挑戦し、率先して行動を起こすことができる人材の育成に重きを置いた活動を展開しました。今年は新型コロナウイルスの影響も少なく、常に最善の形を判断しながらプログラムを進めることができたと感じております。その中で様々な考え方もったメンバーが、与えられた課題に取り組む過程において濃密な時間を共有することで真の友情を培い、共助の精神とリーダーシップを醸成するという目的にも達することができたと実感しております。

特別会員そして現役会員の皆様におかれましては、会員研修委員会の活動に対してご指導ご鞭撻を賜りましたことに衷心より厚く御礼を申し上げます。委員会メンバーが引き続き地域に貢献できる人材に成長できるよう、今後も見守ってまいりたいと思います。一年間、誠にありがとうございました。



副理事長 大森 将平

本年度は安部理事長より副理事長の役職を賜り、まちづくり室を担当させていただきました。

竹中委員長率いる輝くまち岡山創出委員会の晴れの国OKAYAMA防災パーク2023では防災について親子で学ぶことができたと同時に岡山の魅力である災害が少ないまちを再認識していただき、その上で災害に強いまちへと昇華することができました。未来シティ OKAYAMA 2023においては、マインクラフトという手法を使用し、岡山の未来のまちについて創造し郷土愛を高めることができたことを確信しています。

諏訪委員長率いる輝く人財創出委員会の米米ファーム2023では農業の魅力と日本国が抱える農業問題を多くの参加者に伝えることができました。おかやまキッズスポーツフェスタにおいては、各スポーツ団体様と共に小学生を対象としたスポーツ教室を行い子供たちの可能性を広げることができたと確信しています。

両委員会が実施した事業を通して、岡山の未来の輝く人財を輩出すると同時にまちをつくる仕組みづくりが出来たと確信しております。

最後になりますが、特別会員、現役会員の皆様には1年間まちづくり室の事業・活動に多大なるご理解ご協力を賜りましたこと心から御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



副理事長 高 畠 裕 介

本年度は地域連携室の副理事長として、安部理事長が掲げられるスローガン「スパークルオカヤマ」のもと一年間活動を推進してまいりました。

大北委員長率いる地域連携強化委員会では「シゴトカレッジ2023」と「OKAYAMANIGHT～FACETOFES～」を開催させていただきました。シゴトカレッジ2023では産学連携についてOKAYAMANIGHT～FACETOFES～では産官学連携をおこなうことで岡山に新たな文化醸成につなげることが出来ました。

綾部委員長率いるうらじゃ委員会では「第28回うらじゃ」においては、4年ぶりのフルサイズでの開催することで、第30回の節目に向けての地域、参加者、観覧者の視点で岡山に必要な祭りとして基礎と言える事業を行うことが出来ました。

すべての事業におきまして特別会員をはじめ、現役会員や関わっていただいた方々のご協力のもと、事業を貫徹することが出来たことに感謝、御礼を申し上げます。一年間本当にありがとうございました。



副理事長 幡 山 益 聖

本年度、安部理事長のもと、交流室副理事長として、人と人との交流を第一に置く交流とは何か、今までの距離感があった交流から新たな空間を作るには何が求められているのか、様々な事情や状況がある中で、新たな気持ちと責任感をもって、例会委員会、渉外委員会を担当させていただきました。礼儀礼節をもった岡山青年会議所らしいおもてなしとは、その本質を追求し、誰もが輝き学ぶ意識をもって参加できる空間の創出、そして主体性と協調性を兼ね備えている会員だからこそできる交流に対して、意識を高く持って参加していただいたおかげで、より良い交流の場が多くととのえられました。

本郷委員長率いる例会委員会では、毎月の例会はもちろんの事、岡山ブロック会長公式訪問例会、企画例会、特別会員現役会員合同例会、公開例会、さよなら例会の開催をさせていただきました。また、中西委員長率いる渉外委員会では、新年賀詞交歓会、県外ミッション、でのアテンドやLOMナイト設営、大阪交歓会をはじめとする友好LOMとの交歓会、また海外ミッションのアテンド等、多くの事業を実施させていただきました。両委員会とも柔軟な発想をもち、LOMメンバーだけに留まらず、多くの方々を巻き込み年当初思い描いていた、唯一無二の精神と価値ある空間の創出ができたのもメンバーの皆様が積極的に参加、協力していただいたからこそ成し遂げることができました。

最後になりますが、このような貴重な経験をさせていただいた安部理事長をはじめ、共に活動してくれた多くのメンバー、お支えいただきました特別会員をはじめとされる関係者の皆様には心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



副理事長 二 垣 幸 広

本年度、安部理事長より財政規則審査室副理事長という大役を仰せつかり、津島委員長率いる財政規則審査委員会とともに関わるすべてのひと、地域、組織にとって「三方よし」となる組織運営が実現できるよう縁の下から活動や運動を支えてまいりました。

予定者段階においては、講師を招聘し財政規則審査セミナーを実地させていただきました。公益事業の在り方、予算計画の立案方法、報告の重要さ等をお話しいただき会員に十分な落とし込みができたと自負しております。毎月の財政規則審査委員会や日々の確認では法令や諸規則遵守を徹底し、公益法人として体外的に恥ずかしくない運営を遂行してまいりました。

本年度新設した委員会であり、試行錯誤の連続でしたが津島委員長をはじめとする委員会会員のお陰で最高にキラキラと輝く唯一無二の委員会になりました。2024年度は会議体になりますが、今年度に蓄積した経験をしっかりと次年度以降への引き継ぎを実施し、財政規則審査への意識を現役会員に植え付けていくことが私の宿命であると感じております。

最後になりますが、ご支援いただきました特別会員・現役会員の皆様に心より感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。



専務理事 本 多 高 明

本年度、安部理事長より総務室専務理事の役職を賜り、青山常任理事兼委員長率いる総務・広報戦略委員会を担当させていただきました。安部理事長の側で一年間活動をさせていただき感謝の気持ちで一杯であると同時に副理事長を補佐し全会員の支えとなるべく「三方よし」の精神で活動をして参りました。

組織の土台である総務・広報戦略委員会には、一人ひとりが「扇の要」と強く認識してもらい会員への発信の多くは総務室からであることから、その重責と責任は誰か一人が意識し活動するのではなく総務室一体となり活動し、広報は対外、対内と戦略性をもちながら告知するだけでなく、多くの方に共感をもっていただくこと、そして岡山青年会議所が唯一無二の団体であることを認知してもらい広報戦略を計画し進めて参りました。

最後になりますが、改めて専務理事にご指名いただいた安部理事長はじめ全会員の皆様に感謝をすると同時に、支えていただいた青山常任理事兼委員長と総務・広報戦略委員会の皆様に御礼を申し上げ活動報告とさせていただきます。特別会員の皆様におかれましては1年間ご指導ご協力を賜り心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



常任理事 妹尾 愛 希

本年度、安部理事長よりひとづくり室常任理事の役職を賜り、井戸副理事長兼委員長とともに粉骨砕身の想いで会員研修委員会を担当させていただきました。岡山青年会議所の根幹である「膝と膝を付け合せる」ひとづくりに邁進してまいりました。新型コロナウイルスによる情勢不安もようやく終息を迎えた本年度は、岡山青年会議所で連綿と紡がれてきたひとづくり精神を新会員に伝え、最高の機会の提供を行ってまいりました。コロナ禍で培った新しい研修の手法を引継ぎ、これまでの研修カリキュラムを組み合わせることで、新会員は岡山青年会議所の会員として、礼儀、礼節の大切さや、互いを思いやる利他の精神を学ぶことができたのではないかと感じています。次年度からは各委員会へ配属され、研修で培った学びと成長を郷土おかやまの発展に活かしてもらえるものと思います。また、新会員のために持てるすべての時間を注いでくれたスタッフにとっても大きな成長につながったと感じています。結びになりますが、特別会員の皆様、現役会員の皆様におかれましては、会員研修委員会に多大なるご支援とご協力をいただきましたこと、改めて心より感謝を申し上げ、本年度の事業報告とさせていただきます。



常任理事 眞 殿 昌 宏

本年度安部理事長が掲げられたSparkle OKAYAMAのもと、果敢に挑む大森副理事長より指導いただきながら、まちづくり室常任理事の職を務めさせていただきました。竹中委員長の率いる、輝くまち岡山創出委員会にて「OKAYAMA 防災フェスタ 2023」と「未来シティOKAYAMA2023」の二事業を実施し、郷土岡山は災害の少ない恵まれた気候や活断層のない強固な地盤で災害に強いまちですが、昨今各地で毎年威力を増し起こっている天災など予想困難な危機に対し理解の向上や被害想定認識を高めるため、これまでにない規模感での実施や新たな手法“マイクラフト”を活用し、これからの岡山の可能性を感じ、市民が防災意識や知識を向上し、郷土岡山の魅力や未来について再認識する事業となりました。

また諏訪委員長の率いる、輝く人財創出委員会にて、私たちの生活にとって身近なものを題材に、実体験を通じた学びの場を提供する「米米ファーム2023」「おかやまキッズスポーツフェスタ」の二事業を実施し、岡山にある環境と資源を有効活用し、未来に向けて可能性を見出し、青少年・保護者・まちにとって「三方よし」となり、まさに人が輝きこれからの財となる事業となりました。

この2つの委員会活動を通して改めて岡山青年会議所の規模感や団結力、素晴らしさを多くの会員の意識改革ができたことを確信し、まちづくり室としての役割を果たすことができたと感じております。ひとえにチームを大切にする大森副理事長の指導力と両委員長の人間性によるものと心より感謝しております。またこの様な経験と機会を与えていただきました安部理事長をはじめとする現役会員の皆様に感謝申し上げます。常任理事事業報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。



常任理事 三 垣 章 一

本年度は安部理事長より大北委員長率いる地域連携強化委員会、綾部委員長率いるうらじゃ委員会の担当をさせていただきました。地域連携委員会では県内大学、飲食業に携わる企業の皆様と仕事カレッジ2023そしてFACE to FESと題して石山公園で岡山大学学生の皆様と共に岡山で活躍中のパフォーマーの皆様をお招きして夜市を開催させていただきました。

うらじゃ委員会では4年ぶりとなる通常開催の第28回うらじゃそして振興活動では市民の皆様からデザインを募集し実際にうらじゃグッズと販売するデザインコンペを開催させていただきました。地域連携室では地域の皆様との連携はもちろんのこと岡山のまだ掘り起こされていない資源にスポットを当て新たな起点となる事業を実施することができました。本年度共に事業を運営してくれた皆様、そして参加された皆様の中からこの事業を自分たちで「やってみよう」と岡山を輝かす行動に移せる人財が生まれる事を心より願っています。最後に本年度は国際アカデミーに参加させていただき各国のJCI会頭候補者の皆様と様々な議題で議論をさせていただきました。多くの学びと気づきと友情を深めることができました。参加する機会をいただき感謝申し上げます。



常任理事 大 塚 真 弘

本年は交流室常任理事の役職を安部理事長より賜り、一年を駆け抜けてまいりました。また、日本青年会議所への出向をさせていただき、青年会議所活動における濃密な経験ができたことに対しまして、多くの会員に感謝申し上げます。

執行部として、LOMでの会員同士の交流を深められる委員会での立場をいただいたことで、私なりに青年会議所活動の中で挑戦の年と考え、一心不乱に青年会議所のために邁進してまいりました。緊張感がありながらも心地よい時間を過ごした事で研鑽を積み、修練だけではなく友情を育むことができ、通常では得られない学びを得ることができました。そんな一年を過ごせたことを改めて多くの皆様に感謝申し上げます。



常任理事 青山 雅 史

本年度、安部理事長より総務室常任理事の役職を賜り、本多専務理事のご指導のもと、総務広報・戦略委員会を担当させていただきました。安部理事長が掲げられた「Sparkle OKAYAMA」のスローガンのもと、1年間を駆け抜けてまいりました。総務広報・戦略委員会では、自らが「扇の要」である意識を強く持ち、意思決定を行う会議体をできるだけコロナ前の本来の設営を心がけました。会議体で上程される議案についても、財政規則審査室と連携をして、コンプライアンスを徹底した、透明性のある会議体の運営を行ってまいりました。また、広報においては各委員会の事業をより多くの方々に認知していただくため、媒体を適切に選択した広報を心掛け広報誌・SNS・HPと自治体や各種メディアでの発信を使い分けて、1年間通して積極的に行いました。

本年度の総務室の活動が、誰からも愛され頼られる「唯一無二の存在」としての岡山青年会議所の一翼になれたと確信しております。

最後になりますが、総務室の活動にご理解とご協力をいただきました特別会員の皆さま、安部理事長をはじめ現役会員の皆さまにはこの場を借りて御礼申し上げ、常任理事事業報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。



監事 中 村 彰 宏

2023年度は安部理事長より監事という大役を拝命し、1年間活動してまいりました。俯瞰的立場から健全かつガバナンスのきいた組織運営について助言することに加え、郷土おかやまにキラキラとした好循環を生み出す活動となるよう尽力いたしました。

岡山青年会議所の会員数が増加傾向にある中、新型コロナウイルス感染拡大による行動制限の爪痕がまだ色濃く残り、活動に対する会員間の意識に乖離が生じつつある現状も事実です。そのような背景からも、不易の継承と更なる進化が求められている組織のあり方について特に意識し、ひいては関わる全ての人や地域社会、そして仲間と組織の幸せを願う強い心で会員一体となった活動となるよう監査してまいりました。また基本理念および基本方針に沿った事業を展開できるよう働きかける中で、私自身も多くの学びや気づきを得ることができました。

例会や理事会においては時に厳しく発言することもありましたが、岡山青年会議所の発展を願ってのものであり、多くの方々にご理解をいただきましたことに感謝を申し上げます。今回の経験を活かし、最終年度となる次年度も精力的に活動していくこととお約束申し上げ、事業報告とさせていただきます。



監 事 前 田 淳

本年度、安部理事長より監事の職務を仰せつかりました。岡山青年会議所の問題点や方向性を俯瞰的な立場で監査をさせていただいた貴重な一年でした。会員研修委員会にも参加をさせていただき、凜とした雰囲気の中で諸先輩方のご講演を聞かせていただき、改めて学びになる良い機会をいただきました。例会や理事会等で監事講評をさせていただく際には、不易流行を意識しながら組織のためを願い、時には厳しい講評をさせていただきましたが、少しでもお役に立てたならば幸いに存じます。今次年度が錯綜していく中では、例会や理事会等の会議に出席できず、ご迷惑をおかけすることも度々ありました。特に同職の加藤監事、中村監事におかれましてはご迷惑をおかけしたことを、この場を借りてお詫び申し上げます。最後にこのような機会を与えていただきました会員の皆様に感謝を申し上げ、事業報告とさせていただきます。



監 事 加 藤 高 明

本年度、安部理事長から監事兼財政規則審査室アドバイザーという例年にない役職を拝命し、同期であると同時に同年でもある安部理事長の心遣いに感謝いたします。理事会の一步離れた立場から諸会議を拝聴し、厳しい意見を述べる機会も多々あり、自分自身を律する場面でもあったと感じました。財政規則審査委員会の意見では、委員長や副理事長意見に対する対応の記載があるものの、私の意見に対する対応がないものが散見され、自分の意見が軽視されてしまう現状に卑下したときもありました。ただ、財政規則審査委員会の会員とは、かなり近い距離で話をすることができ、最終年度ではありましたが、次年度以降LOMに残る会員に青年会議所運動における議案について伝える貴重な機会となったことと自負しております。

例会における監事講評においては、常に会員全体の成長を意識する視点を重視し、諸会議における講評においても理事よりも執行部の責任を意識するように工夫しました。組織を客観的に評価する立場であり、心の痛む部分もありましたが、組織のためと断腸の思いでした。

この先の岡山青年会議所の更なる発展の一助となれましたら幸いです。結びになりますが、特別会員の皆様と現役会員の皆様のお力添えを賜りまして誠にありがとうございました。

Ⅱ 組 織

1. 会 員

(1) 正 会 員

2022年度末会員	126名
2023年度特別会員加入数	17名
2023年度新規加入者	21名
2023年度中途退会者	13名
2024年度特別会員加入予定者	22名
2023年度末会員	115名

退会者	秋葉 健太	工藤 伊織
	浅野 亮	斯波 篤
	岩田 優樹	立川 圭亮
	大西 悟史	藤原 一政
	貝原 清高	松田龍乃輔
	加賀 大三	三宅 顕史
	金田 大希	

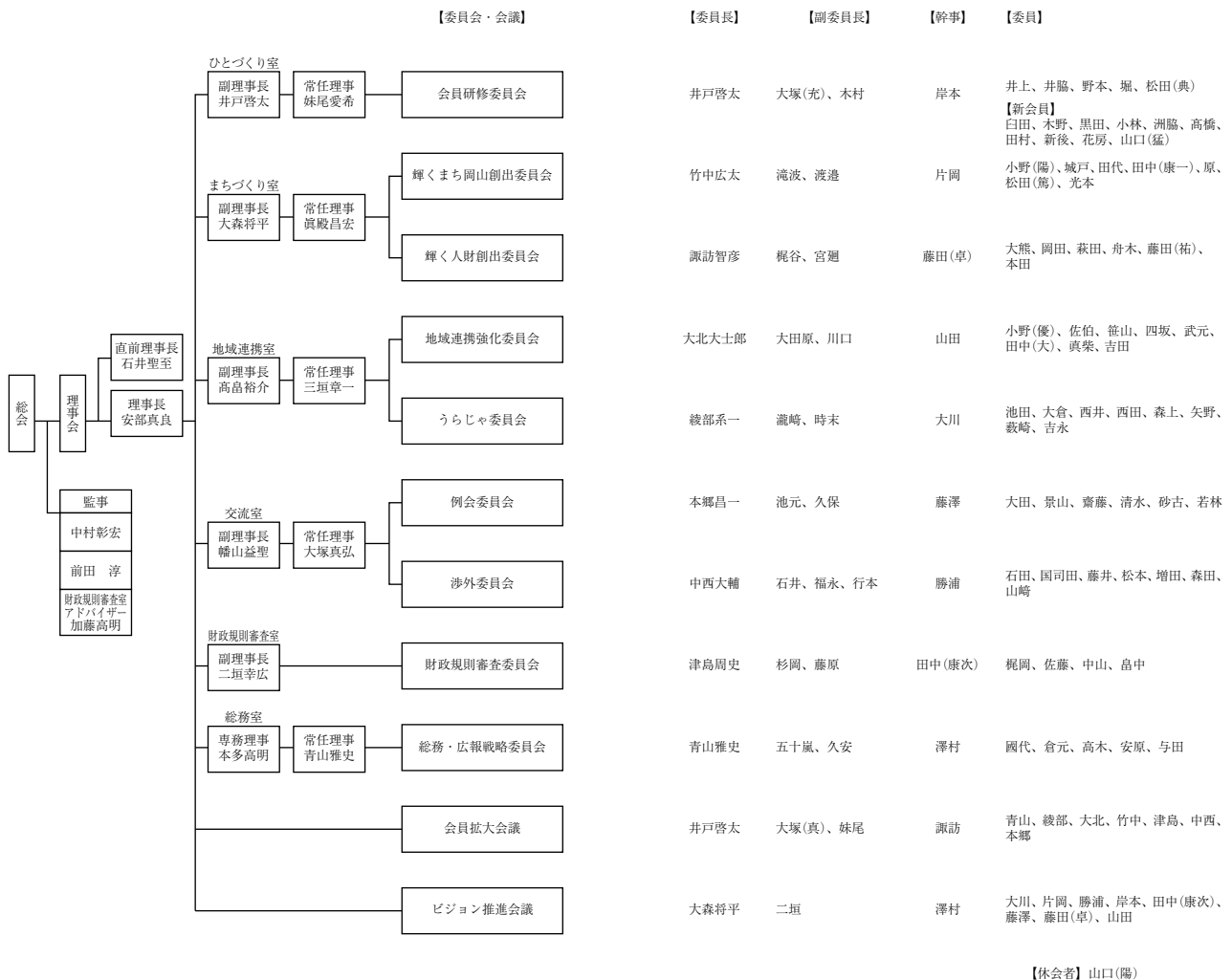
(2) 特 別 会 員

2022年度末会員	796名
2023年度加入者	17名
2023年度物故会員	7名
2024年度加入予定者	22名
2024年1月1日会員	823名

物故会員	山口 喬久
	木口 省吾
	倉森 治
	藤岡 秀男
	西江 和之
	姫井 悦治
	安藤 英一
	姫井 悦治
	綾部 欽一
	高祖日出夫

区分	氏名	勤務先	年/月
前期新規入会者	井脇 康文	(有)岡山ネジ製作所	2023/1
	大熊 一旗	(株)小町産業	2023/1
	大倉 直己	メットライフ生命保険(株)	2023/1
	小野 優	(株)オカカン	2023/1
	清水陽一郎	RM(株)	2023/1
	高木 大地	(株)Cone・Xi (コネクシー)	2023/1
	畠中 康行	咲良商事(株)	2023/1
	光本 秀兵	(株)かざぐるま商店	2023/1
後期新規入会者	白田 陽平	合同会社太陽コーポレーション	2023/7
	木野 誠也	(株)Trust Material	2023/7
	黒田 勇人	(株)黒田建匠	2023/7
	小林 侑生	一般社団法人コミュニティラポール	2023/7
	洲脇 健太	ペットベイシックス(株)	2023/7
	高橋 政司	(有)サークルメンテナンス	2023/7
	田村 陵	(株)NEO SPREAD	2023/7
	新後 善弘	宗教法人上興院	2023/7
	花房 利宇	室町酒造(株)	2023/7
	山口 猛	(株)倉敷ブルーフ	2023/7
	特別会員新規加入者	安部 真良	(株)山脇山月堂
綾部 系一		(株)ADF・アヤバ	2024/1
石井 哲也		(株)石井土木	2024/1
井戸 啓太		司法書士法人アスウェル法務事務所	2024/1
大塚 充		ライフオス(株)	2024/1
加藤 高明		Adam法律事務所	2024/1
佐伯 純子		(株)ありがとうファーム	2024/1
笹山 勇二		(株)笹山・板金	2024/1
四坂 政稔		(株)イー・ネットワークス	2024/1
高島 裕介		(株)ライフスタイルギャラリー	2024/1
田代 康介		(株)KIG	2024/1
中山 友二		弁護士法人後楽総合法律事務所	2024/1
西田 喜勝		大和ハウス工業(株)	2024/1
久安 宏一		(有)ストロベリー	2024/1
藤田 祐己		ユーキエンジニアリング(株)	2024/1
真柴 祐介		(株)リフレクト	2024/1
松田 篤郎		(株)SEC	2024/1
松田 典久		両備ホールディングス(株)	2024/1
眞殿 昌宏		竹久夢二本舗敷島堂(株)	2024/1
宮廻 孝史		(株)PCM建創	2024/1
矢野 修	インビザライン・ジャパン(株)	2024/1	
若林 裕聖	スマイルイノベーション(株)	2024/1	

2.2023年度 公益社団法人 岡山青年会議所 組織図



Ⅲ 出 向 者 報 告

公益社団法人 日本青年会議所

社会課題解決推進委員会 委員長 高 畠 裕 介

2023年度、公益社団法人日本青年会議所 地域グループ 社会課題解決推進委員会 委員長として出向させていただきました。本年度は麻生会頭の「夢溢れる未来を描き 世界に冠たる日本を取り戻す」の基本理念のもと、地域に眠る様々な強みをもつ事業者に光を当てるために岡山青年会議所からも多くの出向者を輩出していただいた上で全国から41名の委員会メンバーで予定者も含め1年半の運動を展開させていただきました。

社会課題解決推進委員会では委員会名からもわかるように、社会課題に対しビジネスの活用で解決を進め、社会全体で持続的に未来に向け自走できる仕組みを作り上げるため、WEBセミナーを開催し、新たなビジネスモデルの確立も含め価値デザインコンテストには113件のエントリーをしていただくことで、サマーコンファレンス2023では内閣総理大臣賞、経済産業大臣賞、環境大臣賞、デジタル大臣賞を含め6つの賞をお渡しすることが出来ました。

企業交流支援プラットフォームでは、全国の青年会議所会員に向け補助金助成金のサポート、協業や支援をオンライン上ではアイデアバンクとリアルで支援の虎として、新たな社会課題解決型ビジネスの創出に貢献してまいりました。

日本青年会議所が試行する様々な事業を通じて、岡山青年会議所での学びをいかに発揮することが出来、また全国での学びを後輩へと繋ぐ架け橋なる1年を過ごすこととなりました。

最後に出向の機会を与えてくれました、安部理事長をはじめ、ご支援いただきました特別会員の皆様、出向者を含めた岡山青年会議所会員のご協力に対して、感謝を申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

社会課題解決推進委員会 総括幹事 安 原 和 宏

幹事として感じたことは様々なLOMから委員会に出席してもらうことがどれほど大変か最初から最後まで考えさせられた1年間でした。参加することが当たり前ではないことを念頭に置き、岡山JCでも活かせたらと思います。事業自体は全て成功裡に終わり、出向したことで他LOMメンバーと交流も深めることができました。

出向して一番感じたことは岡山よりも人数の少ないLOMが日本JCで活躍していることでした。

これから20年30年先の我々の後輩たちが日本JCで大役をしたいと選択ができる行動も大切だと考えました。出向するなら、委員ではなくスタッフ、VCではなく委員長、またそれ以上を目指せば自身の成長だけでなく、LOMの成長にもつながると思いました。

社会課題解決推進委員会 委員 石 田 祐 己

今回、社会課題解決推進委員会では「企業交流支援プラットフォーム事業」「価値デザインコンテスト事業」の2大事業の元、私は幹事補佐として各事業へ参加させていただきました。新会員明けと活動経験が少ない状態でしたが、だからこそ少しでも多く吸収できるように委員会には積極的に参加を行い、他LOMとの交流も含めて非常に有意義な活動を行いました。特に各VCは委員長のサポートを行いながら、各小委員会の空気づくりを非常に上手く行っており、考え方や立ち回り方などを勉強させていただきました。次年度も前田委員長の元で日本青年会議所への出向を予定しておりますので、今年度のVCのように立ち回れるよう努力していく所存です。

社会課題解決推進委員会 委員 大 塚 真 弘

本年度、日本青年会議所へ出向の機会を与えていただきまして、大変ありがとうございました。日本青年会議所におきまして、委員としての事業や会議への参加、懇親等もあり、1年間を楽しく活動をさせていただきました。全てに出席することができず、そこは少し後悔がありますが、日本青年会議所での貴重な経験は、社業やLOMでの事業をしていくにあたり、多くの学びを得る機会となりました。出向を悩まれている方、または経験をしていない会員には、自分の日本青年会議所での経験や意義を伝え、出向に促していこうと考えています。

社会課題解決推進委員会 委員 梶 岡 洋 佑

「2023年度地域グループ社会課題解決推進委員会」は、私にとって貴重な学びの場でした。この委員会では「社会課題をビジネスに実装する」というテーマのもと、多様な分野の起業家たちから直接学ぶ機会を得ました。これらのセッションを通じて、具体的な社会課題解決の方法や、それら課題に対する深い洞察を得ることができました。この経験は、私のビジネス理解を拡大し、事業へ新たな視点をもたらしました。JC活動の中でも際立った体験であり、日本での滞在は非常に有意義だったと感じています。

社会課題解決推進委員会 委員 佐伯 純子

社会課題をビジネスに実装する。高島委員長からお話を聞いた時、社会課題（障がい者支援）を仕事としている私は懇願し出向をさせていただきました。

社会課題への多角的な視点、アイデアを学び自社の取り組みへ活かすチャンスもあり。また県外で過ごす時間で岡山メンバーとの絆も深まり、他県にも友達が出来、最終年度の出向は収穫と感謝しかありませんになりました。ありがとうございました。

社会課題解決推進委員会 委員 久安 宏一

2023年度地域グループ社会課題解決推進委員会に委員として出向させていただき、多くの学びと経験をさせていただきました。委員会の事業として「社会課題をビジネスに実装せよ」のテーマで各分野の起業家のお話が聞ける場面、また実際自分たちで課題を解決していくにはどうしたら良いか？またどんな社会課題があるのか？と委員会メンバーでセッションすることもあり、自分の社業にも活かせる内容で、ビジネスのヒント、事業の素晴らしさや、たくさんの方の考え方が知れる良い機会になりました。また日本の各地に足を運び各LOMの設営のやり方なども、とても勉強になり、本当に楽しい思い出ができました、2年半という短いJC歴の中で、日本に出向できたことは、本当によかったと思います。

社会課題解決推進委員会 委員 藤田 祐己

本年の社会課題解決推進委員会では、企業マッチングの「支援の虎」、新しい発想で価値を創造する「価値デザインコンテスト」を主軸とした様々な事業を執り行いました。「支援の虎」では、プレゼンターがどういうつながりが欲しいかを参加者とマッチングし、ビジネス交流を図りビジネスの拡大、発展を後押しすることができました。「価値デザインコンテスト」では、プレゼンターによる斬新且つ先進的な新しい価値や発想を社会とつなげることで、ビジネスの新しい道を切り開く役割を果たせたと考えます。プレゼンをいただいた方と、参加頂きました企業様や若き起業家の皆様との交流ができ、大変有意義で学びのある事業となりました。

社会課題解決推進委員会 委員 松田 篤郎

2023年度地域グループ社会課題解決推進委員会に委員として出向させていただき、多くの学びと経験をさせていただきました。委員会の事業として「社会課題をビジネスに実装せよ」のテーマで各分野の起業家の皆様と時間を共有し対話する中で色々な知見や課題の見直しなど行なっていく中で、自分を見つめ直すことにより様々な学びを得る事が出来ました。その中で行われた支援の虎では、最初から最後まで組立を行うことが出来JC内外に今でも交流できる仲間ができました。

またこの委員会でしか出来ない経験や、小委員会内で色々な取り組みができた事、1番良かった事は忙しい中で助け合える仲間ができた事です。自分の社業にも活かせる内容で、日本の各地に足を運び各LOMを見ることで学びを得て岡山JCの良さを改めて知りました。5年という短いJC歴の中で、日本に出向でき、初出向でVCという大役をお預かりする事が出来て本当によかったと思います。私はこの度卒業しますが、最終年度でこの出向を通じて様々な地域のJCと交流出来た事を感謝申し上げます。

社会課題解決推進委員会 委員 山口 陽平

2023年度地域グループ社会課題解決推進委員会に委員として参加したことは、私にとって大変有意義な経験でした。委員会の取り組みとして、「社会課題をビジネスへ実装する」をテーマに、様々な分野の起業家から貴重な話を聞く機会がありました。これらのセッションでは、具体的な社会課題の解決方法や、存在する社会課題について深く考察する時間でもありました。この貴重な経験は、私のビジネスへの理解を深め、事業に新たな視点をもたらしました。この経験は、JC活動の中で特に際立つものであり、日本へ出向ができたことは非常に有意義だったと感じています。

社会課題解決推進委員会 委員 若林 裕聖

本年度、日本青年会議所へ出向させていただきました。6年いて初めての日本出向でしたが楽しく活動をさせていただきましたが、全てには出席はできませんでしたので、そこは少し後悔があります。一つ一つの事業などに対しての規模感の違いなど刺激はたくさんあると思いました。出向を悩まれている方、または経験をしていない会員には、自分の経験を伝え、出向に促していこうと考えています。

コミュニケーション推進委員会 副委員長 前田 淳

本年度、日本青年会議所 コミュニケーション推進委員会 副委員長として出向させていただきました。日本全国において、約半数がコロナ禍に入会したメンバーであり、平均在籍年数も4年1カ月という状況の中で「伝えたいことが伝わらない」「歴の長い方と短い方に温度差があり出席率が低下している」など多くの悩みを抱えているLOMが沢山ありました。当委員会としては、時代に即したコミュニケーション手法として「1on1ミーティング」を促進して参りました。推進活動については、工夫の余地がありましたが、導入していただいたLOMにおいては、退会者の抑制、出席率の向上、LOMの雰囲気が高まった等の声を多数いただき、現代において有効な手法だったと確信しております。自分自身、出向することで岡山青年会議所の素晴らしさをより実感できました。今後は、その素晴らしさと出向で得た経験をLOMメンバーにお伝えして参ります。最後にこのような機会を与えていただいた安部理事長、支えてくれた執行部の皆様、そして1年間支えてくれた出向メンバー、様々な場面で応援いただいた全ての皆様に感謝申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

コミュニケーション推進委員会 委員 小野 陽平

昨今の例会などの出席率を上げる活動を推進するなかで、すごく勉強になったし、自分の会社でも活用していきたいと思いました。その中でも、1on1ミーティングを行うことで言いにくいような問題を洗い出したり、その人と深く関わることができました。また他LOMの方たちと接することができ、岡山JC以外の文化や手法に触れることができ、とても勉強になりました。なりよりより全国に同じ志を持った、友達ができてよかったです。出向させていただきましたありがとうございます。

コミュニケーション推進委員会 委員 国司田 孝介

私は1on1ミーティングの担当させていただきました。1on1ミーティングについて調べ資料を作成しました。各地域のLOMへ前田VCが行き、1on1ミーティングの大事さを伝えるためのお手伝いをさせていただきました。私自身は各LOMへ行けてないので、大変ご迷惑をおかけしました。1on1ミーティングはLOMの士気が高まる効果もあり、自分の社業へも活かせます。事業を通して学びが多かったので良い事業でした。また、各地のLOMへ繋がりを持つことができ様々な学びがありました。日本出向が今回初めてなのでわからないことだらけでしたが今後の活動に活かせる良い経験となりました。次年度も日本出向が決まっておりますので積極的に参加しようと考えております。

コミュニケーション推進委員会 委員 田中 大資

この度、日本青年会議所に出向させていただき、大きく3つの学びがありました。

1つ目の学びは他の県のLOMの方と触れ合う中で、様々なタイプの青年経済人に刺激をいただけたことです。岡山にも多く刺激をいただけるメンバーがありますが、他県の方との話はより興味深く、青年会議所活動を行う上でだけでなく、自身の事業を行う上でも多く参考になることがありました。

2つ目の学びは僕が出向させていただいたコミュニケーション推進委員会での学びです。1 on 1ミーティングの導入を推進していく事業を行っていましたが、その過程で自身も1 on 1ミーティングを学べたので、自社にも取り入れ、本業における社員さんとのコミュニケーションの質も向上することができました。

3つ目の学びは外から岡山JCを見ることができて、いかに今自分が所属しているLOMが恵まれているかを学びました。他のLOMは人数が少なかったりと活動をしていく上で課題を抱えているところも多くあり、岡山のようにダイナミックな事業が行えないところもあります。外に出てみることで今の環境の有難さを知りました。

以上3つが出向で学んだことです。この度は貴重な機会をいただき、ありがとうございます。

コミュニケーション推進委員会 委員 西田 喜勝

公益社団法人日本青年会議所2023年度組織グループコミュニケーション推進委員会に出向させていただきましたありがとうございます。

私たちの委員会は、サマコンでリーダーシップの重要性と相互理解を促進する環境構築の必要性和解決策を学んでいただくためのセミナーをしました。その準備などを通じて、多くの方々と交流を持つことができました。そこから得た刺激は非常に多く、新たな自己成長に繋がったと思っています。

この日本出向をさせていただいたことにより、日本各地の多くの方々と出会うことができました。今後全国転勤のある私にとって心強い出会いになったと思います。

そして何より、中学校の同級生に再会できたことは驚きでもあり、最も嬉しい出来事でした。出向させていただいたことに重ねて感謝致します。

コミュニケーション推進委員会 委員 福永 涼人

日本青年会議所 組織グループ コミュニケーション推進委員会に委員として出向させていただき誠にありがとうございます。本年は中々参加ができず、メンバーの皆様には少し迷惑もおかけしましたが、また次回出向させていただける機会がありましたら頑張っていきたいと思っております。出向させていただきありがとうございました。

輝くまち岡山創出委員会 委員 原 拓矢

私は2023年度岡山青年会議所より、日本青年会議所JCブランディング会議に出向させていただきました。ありがとうございました。2022年後期入会の私にとって、LOMでの委員会配属も初めての経験でたくさんの学びと経験をいただきましたが、日本出向では青年会議所の中でも一番予算をいただいているというブランディング会議で青年会議所の持つ影響力の強さや、世界各地に日本の魅力を発信する必要性も青年会議所にはあるということを学ばせていただきました。メインは「We Believe」を書くことや添削をさせていただいていました。出向させていただけてなければ話を聞けなかった業界のトップを走られている方、昔ながらの伝統を守られている方など様々な方の話を聞いたこともここでしかできなかった経験でした。ありがとうございました。

JCブランディング会議 委員 藤原 由季子

本年度、公益社団法人日本青年会議所JCブランディング会議に委員として出向いたしました。きっかけは昨年の出向でできたご縁です。出向先では主に月1回発行の「We Believe」の制作を担当していました。1冊を作るのにどれだけのLOMとやりとりをし、取材に立ち会っているのかを間近で感じられたのは素晴らしい経験となりました。また、全国に多くの友人を得ることができるのも出向の醍醐味です。大小様々なLOMの実情を知り、岡山の恵まれた環境を再認識するとともに、LOMの垣根を越えた交流を持つことができ、互いに支え合うことの大切さを改めて認識することができました。最後になりますが、貴重な機会を与えてくださった安部理事長、誠にありがとうございました。

渉外委員会 委員 加藤 高明

本年度は、私の敬愛する加藤大将君が副会頭になられるとのことで、安部理事長に無理を言って日本青年会議所の渉外委員会に出向させていただきました。渉外委員会は5個の小委員会に分かれており、加藤副会頭を補佐する小委員会は第4小委員会でした。副委員長（VC）は、2019年国際ビジネス連携委員会の総括幹事の木村君（同年）です。加藤副会頭は当時の委員長ということで、ASPACでは諸会議の帯同を学び、オフの部分では昔を思い出すことができました。

本来であれば世界会議にも参加する予定でしたが、仕事の都合ができず参加できなかったことが悔やまれます。我儘を聞いていただいた安部理事長、そしてメンバーの皆様には感謝申し上げます。

渉外委員会 委員 滝波 深介

本年度、日本青年会議所 総務グループ 渉外委員会に委員として出向させていただきました。出向をさせていただき、今まで経験できなかったことで気づきや沢山の学びとなりました。そして全国各地のLOMメンバーと交流することで岡山青年会議所の良いところや恵まれた環境で活動をさせていただいていることを再確認することも出来ました。そして岡山だけではなく県外のLOMメンバーとの友人ができたことは人生において、かけがえのない宝物となりました。この経験を活かし、今後の岡山青年会議所での活動に活かしていきたいと思っております。日本出向という貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。

総務委員会 委員 石井 哲也

2023年度私は日本青年会議所総務委員会に委員で出向させていただきました。

主な役割は月に2回の総務チェックと理事会の会場設営と正副会頭会議の設営です。

主に国際グループの議案をチェックしていました。総務チェッカーとゆうエクセルにマクロを設定して所定の言葉に反応それをしていました。後はリンクチェックでした。

移動正副会頭会議では横浜、水戸、東京、福山など各所に行かせてもらい、行く先々でおもてなしをしていただきました。特に水戸青年会議所は印象に残っています。駅まで迎えに来ていただき、ホテルに入るとお礼状とお土産が部屋にあったのには感動しました。

出向させて下さりありがとうございました。

総務委員会 委員 杉 岡 裕

本年度は公益社団法人日本青年会議所 総務グループ 総務委員会に委員として出向させていただきました。当委員会では、日本青年会議所の総会並びに理事会等諸会議の運営や議案チェックの他、1月の京都会議の企画・運営を担当しています。全国各地からLOMの将来を担うメンバーが集い、各委員会の活動が円滑に進むように、組織の要として全力でサポートしてきました。また、活動を通してメンバーとより良い交流・連携ができ、お互いが刺激し合いながら切磋琢磨していく、有意義な時間を過ごすことができました。この経験を、今後の岡山青年会議所に還元していきたいと思っております。日本出向という貴重な機会を与えていただき誠にありがとうございました。

公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会

副会長 幡 山 益 聖

本年度、公益社団法人日本青年会議所、中国地区協議会に会務担当副会長として出向させていただきました。山田会長が掲げられる「中国5県をつなぎ 夢溢れる未来を創造する」を基本とし、「中国地区内に住み暮らす人々が地域ブランドに触れて知ることにより、魅力を再認識し私たちの 中国地区を誇りに思ってもらう」を委員会の夢とする地域ブランド構築委員会を担当させていただきました。地区への出向は今までも経験がありましたが、やはり先輩方が今まで築いてこられた地区内での岡山青年会議所の存在はもろんの事、多くの気づきと学び、そしてかけがえのない友をつくることができました。

中国地区内に存在する魅力や、可能性を秘めたビジネスの認知度の向上をすることで、地域経済再生の一助となり、自分たちの手で夢溢れる未来を創造できるよう、世界に発信できる地域のビジネス、そして地域の魅力を再発見するマイナーグランプリを地区コンファレンスにてブースを出展させていただきました。また中国地区内の子供たちが、今よりも利他の心や共助の精神を醸成することを目的に、JCカップU-11少年少女サッカー全国大会予選大会の実施を、広島県の新庄高等学校にて実施させていただきました。チームや個人がそれぞれ自分の定めた目標に対して勝負にこだわり、真剣勝負を行ってもらおう事と、グッドルーザーの精神を学ぶためにも「勝負にこだわる中国地区」として取り組み、挑戦者を全員でたたえる大会となりました。どのような状況であれ、それぞれの責務を全うすることで前に進むことができ、何事に対しても一生懸命に活動することで多くの絆をつくることができました。これは自分にとっての宝であり、ありがたいご縁となりました。これからも一年間共にしたメンバーと末永く付き合っていきたいと思っております。

最後になりますが、特別会員の皆様、LOMメンバーの皆様、そして何より予定者段階から一番近くで支えていただいた、萩田幹事、森田幹事には大変お世話になり、このような機会を与え頂きました全ての方に感謝申し上げます。これからも出向のすばらしさを周りに伝えて参ります。ありがとうございました。

副会長補佐 萩 田 正 樹

本年の中国地区協議会では、幡山副会長補佐の立場をいただき出向させていただきました。東広島や尾道、周南に委員会で行かせていただきました。参加された他LOMともたくさん交流をさせていただきました。普段聞くことのない方言や、各LOMが持つ色や空気を感じることができました。岡山LOMが委員会の主催地になった時は、森田副会長補佐と協力して委員会会場の手配、懇親会会場の設営、アトラクションなど、お越しになられた他LOMの方々に楽しんでいただけるよう準備して参りました。おもてなし精神を忘れず案内したことにより他LOMから喜びのお声をたくさんいただきました。私にとっては中国協議会活動の中で一番の思い出になりました。この協議会で学ばせていただいた経験を、今後の社業や青年会議所活動に活かして行く所存です。

副会長幹事 森 田 貴 統

2023年度日本青年会議所中国地区協議会に幡山副会長の補佐として出向させていただきました。出向では主に中国地方全域を副会長と回り、会議後の懇親会では他LOMの方と交流を深めさせていただきました。

はじめは、何もわかりませんが会を重ねるごとに他LOMの出向されてる方々と顔を合わせる回数も増えLOMを越えた仲間と懇親を深めることができました。

出向させていただいて一番感じたことは、自分の存在意義が見出せなくても、出席をしなればなんにも変わらないし何も感じる事ができないことだと思います。良くも悪くも参加する事に意味があると感じました。

一年間ありがとうございました。

副会長
中村 彰 宏

2023年度は安部理事長より岡山ブロック協議会副会長という大役を仰せつかり、1年間の出向活動に邁進いたしました。岡山ブロック協議会は初出向でしたが、多くの同志との良好な人間関係の中、松本会長が掲げられる「岡山が輝き 夢溢れるまちの創造」に向け、一丸となって活動に取り組みたと実感しております。

担当の会員研修委員会においては、ブロック協議会内ほぼすべてのLOMにおいて会員数の減少および在籍期間の短期化による不易の継承が懸念される中、次代を担うメンバーが青年会議所の創始の精神および基礎知識を学び、今後更なる活躍ができるための機会の提供を目標として事業展開いたしました。

所属LOMの期待および支援があつての出向は決して当たり前のもではなく、どのような立場で出向しても、本人が自覚と責任感を持てるかどうかで得られるものは変わってきます。自分自身も担当委員会に限らず、置かれている立場でできることを考え、全体に対して働きかける中で多くの学びや気づき、かけがえのない出会いがありました。今回の経験を活かし、最終年度となる次年度も精力的に活動していくことをお約束申し上げ、出向者報告とさせていただきます。

副会長幹事
國代 健 介

本年度、日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会へ副会長幹事として出向させていただきました。幹事団として役員会議への参加、幹事団での懇親等もあり、1年間学びの多い時間を過ごさせていただきました。岡山ブロック協議会で行われている事業が、各地LOMへと与える影響等を実際に出席することで知ることができ、とてもよい機会を与えていただきました。各地LOMの例会や周年事業では、岡山の地で活動されている方々と交流することができました。これをきっかけに繋がりができた方々と連携を取っていきたいと考えます。出向を悩まれている方、または経験をしていない会員には、自分の経験を伝え、出向に促していこうと考えています。

岡山未来創造会議 副委員長
池 元 純 一

2023年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 岡山未来創造会議に副委員長として出向させていただきました。誠にありがとうございました。

議長が非常に熱意溢れる方でその熱気を受けて年始から総社青年会議所が開催している事業に参加させてもらうなど、非常に多くの各地青年会議所メンバーと交流を深めることができました。

また、議長のエネルギッシュな活動を見ることで私自身ももっとしっかりとしないといけないと再認識させられることが多かった1年でした。

また、私同様今後も残るメンバーには1人でも多く出向の経験をしてほしいと思いますので得た経験を伝えていきたいと思います。

最後になりましたがこの様な貴重な経験と機会を与えていただきました安部理事長をはじめとする岡山青年会議所メンバーの皆様へ感謝と共にこの経験をしっかりと岡山青年会議所活動に活かしていきたいと思っております。

岡山未来創造会議 委員
矢 野 修

本年度、公益社団法人日本青年会議所岡山中国地区岡山ブロック協議会、岡山未来創造会議へ出向させていただきましたので、ご報告いたします。

各LOM人員についての課題を有しており、喫緊の課題として取り組んでいました。山間部などの小さいLOMでは、メンバー減少により事業を開催できないというような課題も目前に迫っています。これは、人口減少が著しく、新規創業者の人数も落ち着きを見せている昨今、そう遠くない将来、岡山JCにも起こりうることだと思います。岡山JCは、先輩会員や現役会員とも拡大への意識が高く、また人材も県内他LOMに比べ多いので、むしろ岡山の手法を他LOMへ展開するケースが多かったですが、今後より一層拡大への意識付けが必要と感じました。以上です。

会員研修委員会 副委員長
木 村 勝 也

本年度 岡山ブロック協議会 会員研修委員会に副委員長として出向させていただきました。誠にありがとうございました。

新会員研修やブロックアカデミーの設営等に関わり多くの学びを得ることができました。

岡山青年会議所以外のメンバーに囲まれ、副委員長として活動することで青年会議所活動の視野を広げるきっかけとなりました。また他LOMのメンバーのお話を聞くことで岡山青年会議所のすばらしさも改めて実感することができました。多くの学びの場をいただき誠にありがとうございました。

会員研修委員会 委員 藪崎 聡

本年度 岡山ブロック協議会 会員研修委員会に委員として出向させていただき、新会員研修やブロックアカデミーの設営等に携わらせていただきました。

私自身、JC入会后初めての出向となり、他LOMの方と初めて交流を図ることが出来ました。他LOMでは岡山には無いような会員数や事業の問題を抱えており岡山青年会議所に在籍している、私が置かれている状況に対して改めて考える機会となりました。また、事業を通して多くの仲間を作ることができ、今後のJC活動の視野が広がることが出来ました。

この度の経験を活かし、岡山青年会議所だけでなく、各地の青年会議所メンバーとも連携を深め、今後の活動に活かしてまいります。この度は岡山ブロック出向という大変貴重な機会を頂き、誠にありがとうございました。

夢溢れる岡山創造委員会 副委員長 川口 修司

本年度、中国地区 岡山ブロック協議会 夢溢れる岡山創造委員会に副委員長として出向させていただきました。担当する事業としましては、岡山ブロック大会でのメインフォーラムと岡山県内の海ゴミ問題啓発活動の事業を担当しました。メインフォーラムでは、これまでのメインフォーラムより事業規模を拡大し、講師に吉田沙保里様をお呼びし、一般発売のチケットを即日売切れ、会場が満席となり大成功を収めることができました。また、海ゴミ問題啓発活動も岡山県下のうらじゃ祭りを含む3つのお祭りに出店させていただき、啓発活動を行い、こちらも無事終えることができました。本委員会を通し、LOM外の岡山県下の青年会議所会員と深い関係を築くことができ、貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

長期ビジョンスローガン・考え方

あって良かった。
岡山 J C

ひとづくり

まちづくり

青年会議所活動を通して築かれる
若者同士の強固な絆

これまでになかった事業への挑戦を
通じて検証する「おかやまのまち」

若者ならではの、若者にしかできない挑戦を
通じて創造する「新しいおかやま」

<ひとづくり>

岡山青年会議所による修練は確実な自己成長を促し、また互いに切磋琢磨を繰り返される若者同士の絆は、確実に新しい岡山を創造する力になっていきます。岡山青年会議所に入会したすべてのメンバーが「出会えてよかった。」と胸を張って言える団体を目指します。

<まちづくり>

青年会議所運動で培った能力を存分に発揮し、郷土おかやまの発展に無くてはならない、若者にしかできない事業を推進していきます。そして、岡山青年会議所が郷土おかやまに必要不可欠な団体、岡山の方々に「岡山 J C がある良かった。」と思われる団体を目指します。

長期ビジョンアクションプログラム

立ち上がり期		浸透期		拡大期
2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
長期ビジョンの検証（総務委員会）				
長期ビジョンの啓蒙		中間答申	長期ビジョンの啓蒙・策定	
既存事業の継続・発展・検証				

これまでになかった事業へ挑戦するための企画・立案・検証

- 年間10名以上の純増を目指し、2024年当初150名の会員を得ることを目標とする。
- 若者ならではの、若者にしかできない事業の企画・運営を行う事により、新しいおかやま創造の一助とする。
- 長期ビジョンスローガンを例会にて掲示する。

※ビジョン推進会議の設置

2022年に中間答申として2020年、2021年における事業に対する検証を行う。2023年、2024年に新長期ビジョン策定のためのビジョン推進会議を設置する。

※長期ビジョンの検証

事業計画書に長期ビジョンとの合致点、事業報告書に長期ビジョンの達成した点、達成できなかった点について記載し事業後の検証を行う。また、全事業終了後に総務委員会にて長期ビジョンの検証を行う。

IV 委員会活動報告

会員研修委員会

井戸啓太

本年度は岡山青年会議所の根幹となるひとりづくり室を、副理事長兼会員研修委員会委員長という立場で運営させていただきました。また前期新会員及び後期新会員、そして大変心強いスタッフとともに一年間の活動を有意義に取り組むことができました。

礼儀礼節や利他の精神を大切に、修練を重ねることで自立したリーダーを育成することを目的に、自発的に挑戦し、率先して行動を起こすことができる人材の育成に重きを置いた活動を展開しました。今年は新型コロナウイルスの影響も少なく、常に最善の形を判断しながらプログラムを進めることができたと感じております。その中で様々な考え方をもちメンバーが、与えられた課題に取り組む過程において濃密な時間を共有することで真の友情を培い、共助の精神とリーダーシップを醸成するという目的にも達することができたと実感しております。

新会員が本年度の経験を一つの糧とし、これからも運動や活動に参加し続け、常に謙虚な気持ちでひとの本質を愛し、一人ひとりが自らの未来を信じ成長していく事によって輝く郷土岡山を創っていくと確信しております。

特別会員そして現役会員の皆様におかれましては、会員研修委員会の活動に対してご指導ご鞭撻を賜りましたことに衷心より厚く御礼を申し上げます。委員会メンバーが引き続き地域に貢献できる人材に成長できるよう、今後も見守ってまいります。一年間、誠にありがとうございました。

輝くまち岡山創出委員会

竹中広太

本年度、安部理事長より輝くまち岡山創出委員会の理事委員長を拝命し「sparkle OKAYAMA」のスローガンのもと、岡山のまちながもつ魅力や可能性を再認識できる事業を実施することで、岡山のまちながを輝かせるべく活動してまいりました。

晴れの国OKAYAMA防災パーク2023では、親子で楽しみながら防災について学び、岡山の魅力を再認識したうえで、災害の少ないまちから災害に強いまちへと昇華させることを目的として事業を実施しました。未来シティOKAYAMA 2023では、教育現場でも使用されているマインクラフトというプログラミングゲームを使用して、子ども達が岡山の未来のまちについて創造することで郷土愛を醸成し、自分達が住むまちの未来への関心を高めることを目的に事業を実施しました。ふたつの事業を通して岡山に住む市民の皆様、そしてこれからの未来を担う世代の子ども達に自分達が住むまちの魅力を知ってもらい、未来のまちづくりについて考えるきっかけを創出できたと実感しております。

最後になりますが、このような機会を与えてくださりました安部理事長、そして常に私達の成長を見守りご指導いただきました大森副理事長と眞殿常任理事をはじめ、当委員会の活動に対してご支援ご協力をいただきました現役会員の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。そして何より、難しい課題に向き合いながら一年間ともに活動してくれた委員会メンバーに心より感謝を申し上げ一年間の活動報告とさせていただきます。

輝く人財創出委員会

諏訪智彦

輝く人財創出委員会では、「米米ファーム2023」「おかやまキッズスポーツフェスタ」の二事業開催に加え、「キッズビジネスパーク2023」の運営補助に携わせていただきました。安部理事長が掲げられた、「三方よし」の精神をもって、委員会メンバーと精力的に活動に取り組んでまいりました。

当委員会では、岡山が有する豊かな資源を最大限に活用し、岡山ならではの経験と学びを通し、輝く人財を育成することを目的とした事業を実施いたしました。「米米ファーム2023」では全3回の事業を通し、農業の魅力と日本国が抱える農業問題を参加者に伝えました。全回とも参加登録人数を大幅に上回る応募をいただき、メディアにも取り上げていただけ、岡山青年会議所の活動を広く世間に発信することができました。「おかやまキッズスポーツフェスタ」では、岡山県総合グラウンドを貸し切り、県下で活躍されるスポーツ団体様と共に、小学生を対象とした大規模スポーツ教室を実施しました。当日は関係者を含め2,000名規模での事業を開催することができ、参加者の潜在的な能力を発掘し、その可能性を広げる場を創出することができました。

本年度の当委員会の活動が、岡山を全国に誇れる「まち」とさせる一助になったのではないかと考えております。最後となりますが、事業へのご協力とご尽力をいただきました特別会員・現役会員の皆様、関係各位の皆様方へ感謝を申し上げ、当委員会の事業報告とさせていただきます。

地域連携強化委員会

大北 大士郎

本年度、安部理事長より地域連携強化委員会の理事委員長を拝命し、「Sparkle OKAYAMA」のスローガンのもとで地域の連携を強化するべく活動を行ってまいりました。引継ぎ事業の「シゴトカレッジ」では若者の向上心やチャレンジ精神を醸成するために手法を見直し、より実践に近い形で開催しました。一つの物事を様々な視点から能動的に考え、向上心を養っていただきました。過去行われた「シゴトカレッジ」のノウハウを活かしブラッシュアップすることでより多くの学生に学びを提供できたと確信しております。

また地域活性化事業として開催した「岡山ナイト ～Face to Fes～」では石山公園で若者を中心に飲食ブースや音楽、花火を打ち上げ、多くの来場者楽しんでいただくことができました。コロナ禍で様々な制限を受け、経験の機会や交流等が失われ、新たな事を実践する土壌が不足している中で、ボランティアとして携わっていただいた学生や、飲食店、参加者の皆様が主役となって岡山のまちを盛り上げる契機となることを目指して活動を行いました。

最後になりますが、重責ある役職を与えていただきました安部理事長、その役職に対し、厳しくも優しく導いていただいた高島副理事長、三垣常任理事、そして事業実施に至るまで奉仕の精神で幾度とない修練と共に乗り越え、最高の友情を培うことができた委員会のメンバー、多くのご指導ご鞭撻を賜りました特別会員の皆様へ感謝申し上げます。1年間の活動報告とさせていただきます。

うらじゃ委員会

綾部 系一

前年までの様々な制限が取り払われ、数年ぶりに通常開催で「第28回うらじゃ」を開催することができました。酷暑が続く2日間にもかかわらず、69の踊り連、およそ3,000人の踊り子の皆さま、まつりの礎となる設営を支えていただいた900人を超えるボランティアの皆さま、そして笑顔でご声援を送っていただいた32万人を超える観客の皆さま、うらじゃに関わっていただいた全ての皆さまに心の底から感謝を申し上げます。

本年度うらじゃ委員会は例年の協賛金募集事業に加え、うらじゃ振興活動の一環として、販売用うらじゃグッズのデザインを募集する、うらじゃ公式グッズコンテストを開催させていただきました。4歳から69歳まで幅広く、岡山県内外から計251点のご応募をいただき、その中から6点のデザインをグッズに取り入れ販売をさせていただき、大変ご好評をいただくことができました。

今後のうらじゃは今まで以上に、岡山市民だけでなく、県内外の多くの人を巻き込んでいく施策が必要だと考えます。うらじゃ実行委員会による、踊り子たちをもっと参加しやすく快適に踊ることができる環境づくりや実施運営。うらじゃ振興会による、平時からのうらじゃを盛り上げるためのPRや情報の発信、県内外のまつり団体や企業との連携など。これらは岡山のまちをもっと盛り上げるためにも、私たち岡山青年会議所が中心となってやらなければならない重要な使命であると考えます。

うらじゃを未来に向けて持続可能なまつりとするために、うらじゃに関わる人たち・岡山市・岡山青年会議所が連動することで、おかやまの夏の風物詩である「うらじゃ」が、さらにキラキラと輝くまつりになると確信しております。うらじゃに関わる多くの人たちと委員会メンバーと共にたくさんのごことを学ばせていただいたこの1年はかけがえのないものとなりました。本当にありがとうございました。

交流室

本郷 昌一

本年度、安部理事長より交流室例会委員会の理事委員長を拝命し「Sparkle OKAYAMA」のスローガンのもとで会員全員が成長でき、絆を深めることができるように例会の設営を行いました。本年は3年ぶりに、年間を通じてコロナウイルスの影響を考えずに開催できる例会を実施できました。対面開催だからこそ、会員が一堂に会することができる例会での交流は、青年会議所のかけがえのない魅力であることを再認識できたのではないのでしょうか。市民公開例会では、厚切りジェイソン氏を講師にお招きし、市民の皆様が新たな価値観や思考に触れることで、多くの学びや気づきを手に入れることができたと考えます。その他にも岡山ブロック会長公式訪問例会や企画例会、特別会員・現役会員合同例会、さよなら例会など多くの例会を実施させていただきました。17回の例会すべてにおいて、全会員の貴重な場を設営することを重責と捉え、目的意識を高め、成長の機会とできる会員ファーストの運営を心がけました。このような機会を与えていただいた安部理事長、交流室を担当していただいた幡山副理事長、大塚常任理事をはじめ、例会実施に際しましてご理解とご支援をいただいた現役会員の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。そして何より、様々な状況下でも常に前向きに率先して活動を続けてくれた委員会メンバーと多くのご指導ご鞭撻を賜りました特別会員の皆様へ心より感謝申し上げます。1年間の報告とさせていただきます。

渉外委員会

中西大輔

本年度の渉外委員会は、広範でエネルギーな活動を展開し、国際的な交流を深め、組織内での活性化に寄与しました。まず、1月には新年賀詞交歓会と京都でのLOMナイト設営を通じて、新年のスタートとメンバー同士の結びつきを祝いました。

5月にはASPACジャカルタへのアテンドを通して、アジア太平洋地域との連携を強化し、6月には大阪での交歓会受番設営や岡山ブロック大会へのアテンドで他LOMとの懇親を図りました。7月には中国地区コンファレンス広島へのアテンドを通じて、中国地区との交流を深め、サマーコンファレンス横浜でのLOMナイト設営を通じて参加者に有意義な時間を提供しました。

9月には台南での交歓会へのアテンドを通して国際的な友好関係を強化し、10月には全国大会東京LOMナイトの設営や高松、津山、広島での交歓会の設営・アテンドを通じて友好LOMとの緊密な連携を築き上げました。11月には世界大会チューリッヒへのアテンドで国際舞台での交流を深め、昭和58年亥年生まれ追出し旅行の設営では卒業生を心置きなく送り出しました。

これらの事業では、対外的な交流を大切に、おもてなしの心を念頭に置きながら、変化に柔軟に対応してきました。精力的な活動を通じて、渉外委員会は組織において不可欠な役割を果たし、視野を広げるとともに、メンバーの結束を深めました。これにより、充実した一年間となりました。以上で本年度渉外委員会の事業報告とさせていただきます。

財政規則審査委員会

津島周史

本年度、財政規則審査委員会の委員長として活動をしました。当委員会は安部理事長の「岡山青年会議所の公益性を担保させたい」「日本外向の際、議案等においても活躍できる人財を輩出したい」という強い想いの元、本年度から設置されました。設置にあたって私はミッションを掲げました。それは「日本青年会議所の議案等の内容を適用すること」でした。日本青年会議所の議案等は内閣府から「公益格として模範となる内容」とされており、公益性・財政・規則のどれをとっても日本随一の厳格さを誇ります。その適用にあたって本年度の内部監査人の代表の方に相談にいったところ、「LOMで財審の適用は難しいと思う。過去、多くのLOMが適用に動いたが、形になったのは一つだけだった」という厳しい意見をいただきました。しかし、私は岡山青年会議所ならできるという強い確信がありました。それは「岡山青年会議所には1つのことをやりきることのできる文化が根付いていること」「理事・執行部には多くの外向の経験のある会員がいるため、日本青年会議所の議案等にも造詣が深いこと」からです。結果、全会員の協力があつたからこそ、日本青年会議所にも引けの取らない議案、事業構築までたどり着いたと私は自負しております。

次年度以降も高い視座をもって公益性を担保し、世間から求められる組織として岡山青年会議所が活動できるように邁進してまいります。

一年間、本当にありがとうございました。

総務室

青山雅史

本年度、安部理事長より委員長を拝命し、本多専務理事のもと、委員会メンバーと共に活動してまいりました。扇の要である総務・広報戦略委員会は、日々変化する社会情勢に合わせて、財政規則審査委員会と密に連携をとりながら、コンプライアンスを遵守して規律のある委員会運営を心掛けて日々努めてまいりました。

また、本年度実施した各委員会の事業をより多くの方々に認知していただくため、媒体を適切に選択した広報活動を心掛けてホームページで広報すべきものとSNS・HPで広報すべきものを精査し、広報誌・SNS・HPを使った情報発信と、自治体や各種メディアでの発信を使い分けて、1年間通して積極的に活動してまいりました。

そして、広報誌「暖流」の発行では、従来のセオリーに捉われないことと内容を一新したことで、事業の案内、報告、現役会員の紹介など、特別会員の方々にも青年会議所活動が分かりやすく伝わるよう努めてまいりました。

最後になりますが、安部理事長をはじめとされます現役会員の皆さまにはこの場を借りて御礼申し上げます。予定者段階から常に支えていただき、厳しさの中に優しさをもったご指導をいただきました。本多専務理事に心より感謝し、一人ひとりが前向きな意識をもって活動してくれた委員会メンバー、そして多くのご指導、ご鞭撻、叱咤激励を賜りました特別会員の皆様へ感謝申し上げます。委員会事業報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

V 会 議

1. 総 会

■第1回定時総会

開 催 日 時：2023年3月8日（水） 18時50分

開 催 場 所：岡山国際ホテル 例会会場

総 会 員 数：117名

出席した会員数：117名

内 訳 本 人出席：112名

委任状出席： 5名

- 【議案】 第1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2022年度 事業報告（案）承認の件
第2号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2022年度 決算報告（案）承認の件
第3号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 修正収支予算（案）承認の件

■第2回定時総会

開 催 日 時：2023年7月5日（水） 19時00分

開 催 場 所：岡山プラザホテル 例会会場

総 会 員 数：122名

出席した会員数：122名

内 訳 本 人出席：115名

委任状出席： 7名

- 【議案】 第1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2024年度 理事専任及び理事長の推薦（案）承認の件

■第3回定時総会

開 催 日 時：2023年7月19日（水） 18時30分

開 催 場 所：岡山プラザホテル 例会会場

総 会 員 数：122名

出席した会員数：122名

内 訳 本 人出席：115名

委任状出席： 7名

- 【議案】 第1号議案 会員資格規定変更（案）承認の件
第2号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2024年度 理事及び監事の選任、並びに執行部理事の推薦（案）承認の件

■第4回定時総会

開 催 日 時：2023年8月2日（水） 18時30分

開 催 場 所：ANAクラウンプラザホテル 例会会場

総 会 員 数：122名

出席した会員数：122名

内 訳 本 人出席：118名

委任状出席： 4名

- 【議案】 第1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2024年度 理事の選任（案）承認の件

■第5回定時総会

開 催 日 時：2023年12月20日（水） 17時40分

開 催 場 所：岡山国際ホテル 例会会場

総 会 員 数：117名

出席した会員数：117名

内 訳 本 人出席： 96名

委任状出席： 21名

- 【議案】 第1号議案 公益社団法人岡山青年会議所 定款変更（案）承認の件
第2号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2024年度 事業計画（案）承認の件
第3号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2024年度 収支予算（案）承認の件
第4号議案 公益社団法人岡山青年会議所 2024年度 組織図（案）承認の件

2. 理 事 会

■第1回 執行部・理事合同会議

日 時：2023年1月6日（金） 17：00～19：00

場 所：杜の街グレース オフィスクエア 貸し会議室 3F ホールD

審議事項

- (1) 会員資格規定 第3条 第4項に基づく推薦人3名以上の推薦者（案）承認の件
- (2) 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 前期入会者予定者名簿（案）承認の件
- (3) 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 名義貸し共催・後援（案）承認の件

■第1回 臨時理事会

日 時：2023年1月13日（金） 10：15～10：45

場 所：岡山国際ホテル 本館 丹頂の間

審議事項

- (1) 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 前期入会者予定者名簿（案）承認の件

■第2回 理事会

日 時：2023年2月13日（月） 19：00～21：00

場 所：杜の街グレース オフィスクエア 貸し会議室 3F ホールF

審議事項

- (1) うらじゃ振興活動事業計画（案）承認の件
- (2) 2022年度 決算資料（案）承認の件
- (3) 2023年度 修正収支予算書（案）承認の件

■第3回 理事会

日 時：2023年3月13日（月） 19：00～21：00

場 所：岡山商工会議所6階 JCルーム 西側

審議事項

- (1) 岡山の魅力再発見事業の事業計画並びに予算（案）承認の件
- (2) 地域課題解決を図る人財育成事業の事業計画並びに予算（案）承認の件
- (3) 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度名義貸し共催・後援（案）承認の件

■第2回 臨時理事会

日 時：2023年3月22日（水）

場 所：メール審議

審議事項

- (1) 地域課題解決を図る人財育成事業の事業計画並びに予算（案）承認の件

■第4回 理事会

日 時：2023年4月10日（月） 19：00～21：00

場 所：岡山商工会議所6階 JCルーム 西側

審議事項

- (1) 定款改定（案）承認の件
- (2) 会員資格規定改定（案）承認の件
- (3) 名義貸し共催・後援（案）承認の件

■第5回 理事会

日 時：2023年5月17日（水） 19：00～21：00

場 所：岡山商工会議所6階 JCルーム 西側

審議事項

- (1) 2023年度 親睦事業 事業計画並びに予算（案）承認の件
- (2) 岡山の未来を創る地域育成事業計画の修正計画（案）承認の件

■第3回 臨時理事会

日 時：2023年5月29日（月） 18：00～19：00

場 所：WEB会議

審議事項

- (1) 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 理事長選挙管理委員会メンバー（案）承認の件
- (2) 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 前期新会員 委員会配属（案）承認の件
- (3) 第49回大阪青年会議所 岡山青年会議所交歓会の事業計画（案）承認の件

■第6回 理事会

日 時：2023年6月12日（月） 19：00～21：00

場 所：岡山商工会議所6階 JCルーム 西側

審議事項

- (1) 岡山のまち活性化事業の事業計画並びに予算（案）承認の件
- (2) 青少年の可能性を広げ岡山の人財を育む事業計画並びに予算（案）承認の件
- (3) 特別会員・現役会員合同新年賀詞交歓会の修正計画並びに補正予算（案）承認の件
- (4) 特別会員・現役会員合同新年賀詞交歓会の事業報告並びに決算（案）承認の件

■第7回 執行部・理事合同会議

日 時：2023年7月5日（水） 15：30～17：30

場 所：岡山プラザホテル 2階 吉備の間

審議事項

- (1) 会員資格規定 第3条 第4項に基づく推薦人3名以上の推薦者（案）承認の件
- (2) 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 後期入会者予定者名簿（案）承認の件
- (3) 特別会員・現役会員合同例会及び懇親会 事業計画並びに予算（案）承認の件

■第8回 執行部・理事合同会議

日 時：2023年7月19日（水） 15：30～17：30

場 所：岡山プラザホテル 2階 吉備の間

審議事項

- (1) 公益社団法人岡山青年会議所 2024年度 理事及び監事の専任、並びに執行部理事（案）承認の件
- (2) 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 役員選挙管理委員会 投票によって選任される2024年度の理事の定数（案）承認の件
- (3) 市民公開例会事業計画並びに予算（案）承認の件

■第9回 理事会

日 時：2023年8月16日（水） 19：00～21：00

場 所：岡山商工会議所6階 JCルーム 西側

審議事項

- (1) 2023年度 親睦事業 修正事業計画並びに補正予算（案）承認の件
- (2) 2023年度 親睦事業 事業報告並びに決算（案）承認の件
- (3) 地域連携強化推進事業の事業計画並びに予算（案）承認の件

■第10回 理事会

日 時：2023年9月11日（月） 19：00～21：00

場 所：WEB会議

審議事項

- (1) 公益社団法人岡山青年会議所 2023年度 理事長セクレタリー（案）承認の件
- (2) 岡山の未来を創る地域育成事業計画の修正計画並びに補正予算（案）承認の件

■第11回 理事会

日 時：2023年10月11日（水） 14：00～16：00

場 所：岡山市民会館

審議事項

- (1) 地域課題解決を図る人財育成事業の事業計画並びに補正予算（案）承認の件
- (2) さよなら例会 事業計画並びに予算（案）承認の件

■第12回 理事会

日 時：2023年11月20日（月） 19：00～21：00

場 所：岡山商工会議所6階 JCルーム 西側

審議事項

- (1) 岡山の魅力再発見事業の修正事業計画並びに補正予算（案）承認の件
- (2) 岡山の魅力再発見事業の事業報告並びに決算（案）承認の件
- (3) 青少年の可能性を広げ岡山の人財を育む事業の修正事業計画並びに補正予算（案）承認の件
- (4) 青少年の可能性を広げ岡山の人財を育む事業の事業報告並びに決算（案）承認の件
- (5) 2023年度 クリスマス家族会 事業計画（案）承認の件
- (6) 定款改定の修正事業計画（案）承認の件

■第13回 執行部・理事合同会議

日 時：2023年12月11日（月） 18：00～19：30

場 所：岡山商工会議所6階 JCルーム 西側

審議事項

- (1) 休会者について
- (2) 後期新会員 委員会配属（案）承認の件
- (3) 岡山の未来を創る地域育成事業の事業報告並びに決算（案）承認の件
- (4) 特別会員・現役会員合同例会及び懇親会 修正事業計画並びに補正予算（案）承認の件
- (5) 特別会員・現役会員合同例会及び懇親会 事業報告並びに決算（案）承認の件
- (6) 市民公開例会 修正事業計画並びに補正予算（案）承認の件
- (7) 市民公開例会 事業報告並びに決算（案）承認の件
- (8) 2024年度 収支予算（案）承認の件
- (9) 2024年度 基本資料（案）承認の件

VI 例 会

開催日	会 場	出席者	記 事
1月13日	岡山国際ホテル	105名	特別会員・現役会員合同新年式典 新会員バッジ授与式
2月 9日	岡山国際ホテル	111名	新会員バッジ授与式 新会員3分間スピーチ 前期新会員コミュニティ
2月22日	杜の街グレース	106名	新会員3分間スピーチ 拡大アワード
3月 8日	岡山国際ホテル	115名	第1回定時総会
3月22日	岡山国際ホテル	113名	ブロック会長公式訪問例会
4月12日	ザ マグリット	110名	
5月10日	フェアレーン岡山	105名	企画例会
6月13日	岡山プラザホテル	105名	前期新会員配属コミュニティ
7月 5日	岡山プラザホテル	115名	第2回定時総会（次年度理事長推薦） 新会員バッジ授与式
7月19日	岡山プラザホテル	115名	第3回定時総会（次年度執行部推薦） 理事選挙チャレンジスピーチ
8月 2日	ANAクラウン岡山 プラザホテル	118名	第4回定時総会（次年度理事委員長推薦） 新会員3分間スピーチ
9月 6日	岡山プラザホテル	104名	新会員3分間スピーチ 後期新会員コミュニティ
9月20日	岡山プラザホテル	108名	特別会員・現役会員 合同例会・懇親会 後期新会員アトラクション
10月11日	岡山市民会館	113名	市民公開例会
11月15日	岡山プラザホテル	105名	出向者報告
12月 6日	ザ マグリット	114名	さよなら例会
12月20日	岡山国際ホテル	98名	第5回定時総会

Ⅶ 諸 事 業

開 催 日	記 事
1月6日	新年参拝（最上稲荷）、新年挨拶まわり
1月13日	新年式典（岡山国際ホテル）
1月19日～22日	京都会議
2月7日	歴代理事長会議（荒手茶寮）
3月6日～5月10日	うらじゃグッズデザインコンテスト
4月19日	日本青年会議所 菓子部会 2023年度 春季定例会（岡山城）
4月23日	米米ファーム2023 1日目（有限会社国定農産農場）
4月29日	岡山ブロック新会員研修会（岡山他）
5月10日～13日	ASPACジャカルタ大会
5月15日	ブロックじゃがいも大会（児島）
5月20日	シゴトカレッジ2023 事業キックオフ大会（杜の街グレース）
5月21日	晴れの国OKAYAMA防災パーク2023（北長瀬未来ふれあい総合公園多目的広場）
6月4日	ブロック懇親野球大会（備前）
6月15日	大阪交歓会（岡山市内他）
6月17日	第59回岡山ブロック大会（児島）
6月25日	米米ファーム2023 2日目（岡山学芸館高等学校グラウンド他）
7月1日	中国地区コンファレンス（尾道 しまなみ交流館他）
7月8日	シゴトカレッジ2023 事業クロージング会（杜の街グレース）
7月10日～15日	国際アカデミー（静岡）
7月14日～15日	2023年度ブロックアカデミー（閑谷学校）
7月15日	未来シティOKAYAMA2023 オープニングイベント ワークショップ（岡山商工会議所ビル）
8月1日	未来シティOKAYAMA2023 ワークショップ2日目（岡山商工会議所ビル）
8月6日	未来シティOKAYAMA2023 ワークショップ3日目（岡山商工会議所ビル）
8月19日～20日	第28回うらじゃ
9月2日～3日	地区野球大会（庄原）
9月3日	おかやまキッズスポーツフェスタ（岡山総合グラウンド）
10月3日～4日	野球全国大会（八王子）
10月5日～8日	東京全国大会（東京都内各所）
10月11日	市民公開例会（岡山市民会館）
10月14日	米米ファーム2023 3日目（岡山学芸館高等学校グラウンド他）
10月16日	高松交換会
10月20日～22日	第42回全国10LOMテニス大会in岡山（岡山市内他）
10月25日	津山交歓会
10月28日	OKAYAMA NIGHT～FACE TO FES～（石山公園）
11月11日	未来シティOKAYAMA2023 クリエイティブアワード（岡山芸術創造劇場ハレノワ）
11月14日～15日	JCI世界会議（スイス チューリッヒ）
12月6日	さよなら例会（ザ マグリット）
12月5日	岡山ブロックJC・OB会（岡山国際ホテル）
12月20日	Sparkling holy night ～きらめく笑顔と夢のクリスマス～

VIII 褒賞関係

1. 褒賞委員会

最優秀委員会 財政規則審査委員会

優秀委員会 輝くまち岡山創出委員会、総務・広報戦略委員会

2. 100%例会出席者

【執行部】

安部 真良、中村 彰宏、前田 淳、加藤 高明、井戸 啓太、大森 将平、
高島 裕介、幡山 益聖、二垣 幸広、本多 高明、妹尾 愛希、眞殿 昌宏、
三垣 章一、大塚 真弘、青山 雅史

【会員研修委員会】

大塚 充、岸本 啓吾、井上玉丹穂、野本 智也、堀 勝之

【輝くまち岡山創出委員会】

竹中 広太、滝波 深介、渡邊 陵太、片岡 大地、原 拓矢

【輝く人財創出委員会】

諏訪 智彦、梶谷 拓史、宮廻 孝史、藤田 卓也、岡田 有造、藤田 祐己

【地域連携強化委員会】

大北大士郎、川口 修司、山田 健二

【うらじゃ委員会】

綾部 系一、瀧崎 純、大川 直人、池田 稔、森上 真夢、藪崎 聡、
吉永 拓未、大倉 直己

【例会委員会】

本郷 昌一、久保 和裕、藤澤 謙、齋藤 将斗

【渉外委員会】

中西 大輔、石井 哲也、勝浦 夏彦、石田 祐己、国司田孝介、森田 貴統

【財政規則審査委員会】

津島 周史、杉岡 裕、藤原由季子、田中康次郎、佐藤 一弥、畠中 康行

【総務・広報戦略委員会】

五十嵐尚輝、久安 宏一、澤村 賢太、安原 和宏、与田 雄人、高木 大地

岡山 J C 設立趣意書

1. 経済活動は、人類社会の基盤であり青年は人類社会発展の原動力であります。吾々はこの意義と誇りの重責に答えんとしここに岡山青年会議所を設立せんとする。
2. 急迫せる国際情勢下郷土の産業経済的發展、日本経済の再建にたずさわる吾等青年実業家の任務はまことに重大である。吾等郷土の経済活動の第一線にたずさわるもの縣下の各層にわたり同土を集め、もつて岡山青年会議所を其の名にふさわしいものにせんとする。
3. 国際経済を離れて日本経済は成立しない。吾等は日本青年会議所を通し、国際青年会議所の精神をわがものにし、国際親善に志し世界の青年と緊密なる提携のもとに平和に寄與し経済活動における人道的世界観を築きもつて祖国日本郷土岡山のあやまりなき再建にいささか貢献せんとする。

(1951年2月6日 創立総会)

